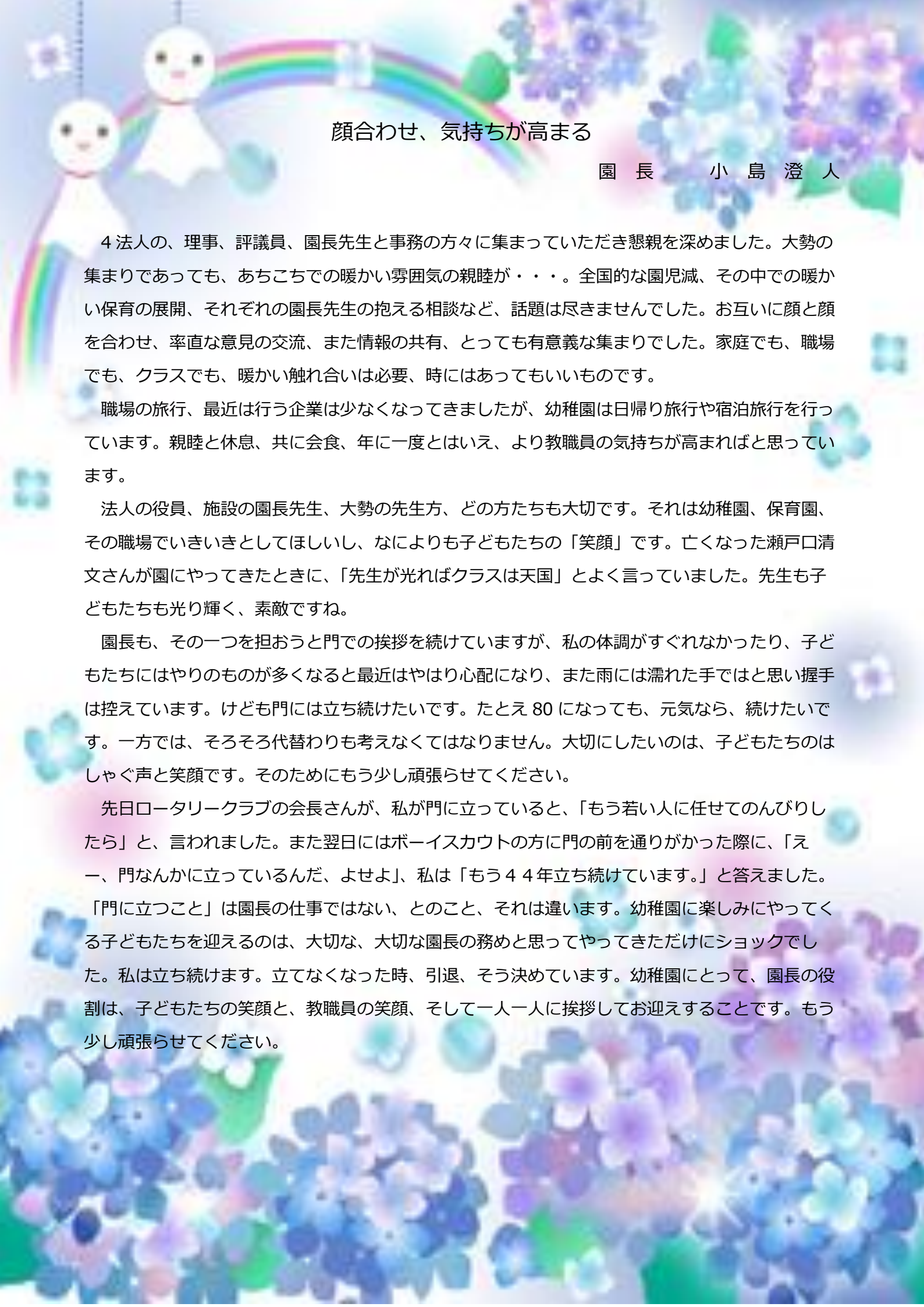




顔合わせ、気持ちが高まる

園 長 小 島 澄 人

4 法人の、理事、評議員、園長先生と事務の方々に集まっていたいただき懇親を深めました。大勢の集まりであっても、あちこちでの暖かい雰囲気のプロ睦が……。全国的な園児減、その中での暖かい保育の展開、それぞれの園長先生の抱える相談など、話題は尽きませんでした。お互いに顔と顔を合わせ、率直な意見の交流、また情報の共有、とっても有意義な集まりでした。家庭でも、職場でも、クラスでも、暖かい触れ合いは必要、時にはあってもいいものです。

職場の旅行、最近を行う企業は少なくなってきましたが、幼稚園は日帰り旅行や宿泊旅行を行っています。親睦と休息、共に会食、年に一度とはいえ、より教職員の気持ちが高まればと思っています。

法人の役員、施設の園長先生、大勢の先生方、どの方たちも大切です。それは幼稚園、保育園、その職場でいきいきとしてほしいし、なによりも子どもたちの「笑顔」です。亡くなった瀬戸口清文さんが園にやってきたときに、「先生が光ればクラスは天国」とよく言っていました。先生も子どもたちも光り輝く、素敵ですね。

園長も、その一つを担おうと門での挨拶を続けていますが、私の体調がすぐれなかったり、子どもたちにはやりのものが多くなると最近はやはり心配になり、また雨には濡れた手ではと思い握手は控えています。けども門には立ち続けたいです。たとえ 80 になっても、元気なら、続けたいです。一方では、そろそろ代替わりも考えなくてはなりません。大切にしたいのは、子どもたちのしゃぐ声と笑顔です。そのためにもう少し頑張らせてください。

先日ロータリークラブの会長さんが、私が門に立っていると、「もう若い人に任せてのんびりしたら」と、言われました。また翌日にはボーイスカウトの方に門の前を通りがかった際に、「えー、門なんかに立っているんだ、よせよ」、私は「もう 44 年立ち続けています。」と答えました。

「門に立つこと」は園長の仕事ではない、とのこと、それは違います。幼稚園に楽しみにやってくる子どもたちを迎えるのは、大切な、大切な園長の務めと思ってやってきただけにショックでした。私は立ち続けます。立てなくなった時、引退、そう決めています。幼稚園にとって、園長の役割は、子どもたちの笑顔と、教職員の笑顔、そして一人一人に挨拶してお迎えすることです。もう少し頑張らせてください。